

製品名: IFN- α R2 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12401

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	IFNAR2
別名	IFNAR2; IFNABR; IFNARB; Interferon alpha/beta receptor 2; IFN-R-2; IFN-alpha binding protein; IFN-alpha/beta receptor 2; Interferon alpha binding protein; Type I interferon receptor 2
遺伝子 ID	3455.0
SwissProt ID	P48551
免疫原	抗血清はヒト IFNAR2 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

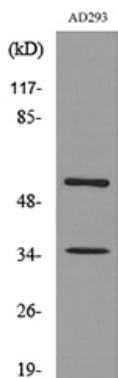
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、I型膜タンパク質であり、インターフェロン α および β 受容体の2つの鎖のうちの1つを形成します。受容体への結合と活性化はJanusタンパク質キナーゼを刺激し、STAT1およびSTAT2を含む複数のタンパク質をリン酸化します。この遺伝子には、少なくとも2つの異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq提供、2008年7月]、疾患：IFNAR2の欠陥は、B型肝炎ウイルス感染症（HBV感染症）の感受性と関連しています[MIM:610424]。肝硬変症例の約3分の1および肝細胞癌症例の約半分は、慢性HBV感染症に起因すると考えられます。HBV感染は、潜在性または無症候性の感染、急性の自然治癒型肝炎、あるいは肝移植を必要とする劇症型肝炎を引き起こす可能性がある。機能：インターフェロン α および β の受容体。アイソフォーム1およびアイソフォーム3は、TYRキナーゼであるJAK1との相互作用により、シグナル伝達に直接関与する。アイソフォーム1は転写因子STAT1およびSTAT2とも相互作用する。どちらの形態もI型インターフェロン活性の強力な阻害剤である。PTM：結合すると、チロシン残基がリン酸化される。類似性：II型サイトカイン受容体ファミリーに属する。

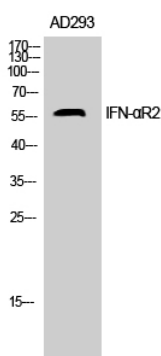
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Toll_Like;Jak_STAT;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性;

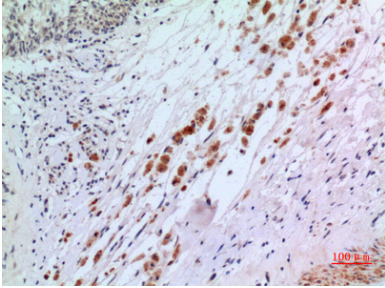
画像データ



IFNAR2抗体を使用したAD293細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



IFN- α R2ポリクローナル抗体を用いたAD293細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された